



創世会
寺田 幸弘

**新型コロナウイルス感染症禍における
学校教育の対応は**

Q 昨年の緊急事態宣言による休校措置により、本来この間行われるべき授業時間数をどのよう
に補ってきたか伺う。

A 令和2年度は市内すべての
小中学校で夏季休業を10日
間に短縮し、授業日数は平均で
約9日間程度の縮減に留まりま
した。また、各学校では、学校
行事の内容を精選したり、年間
指導計画を工夫したりするなど、
様々な取り組みが行われました。
これらのことにより、各教科で
学習すべき内容は、予定通り令
和2年度中にすべて履修する予
定です。

**教職員の働き方の早急な改善
実施を**

Q 教員の長時間勤務を解消する
ために、早急に市独自の予算
を計上し教員数を増やすことに
年間行事の精
選や業務を簡
略化し、負担
軽減につなげ
るべきと考え
るが見解を伺
う。



**今後さらなる業務改善を
図っていく**

A 教員の増員のため、県や国
へ教員定数の改善を求めて
いきます。また、学習支援員な
どを配置し、負担軽減に努めて
おり、年間行事の見直しもされ
ています。さらに、教員の働き
方改革に関する研究指定校では、
変形労働制や小学校の教科担任
制、ICT活用など、先進的な
取り組みが行われており、今後
は、その成果をまとめ、さらな
る業務改善を図っていきます。



創世会
藤原 正光

歴史的資源を地域活性化策に

Q 史跡横須賀城跡整備計画の西
大手・南外堀ゾーンの見直し
案を、より実のある整備にし
ていくために、現県道をいち早く南側
にバイパス化して、後の公園整備
の推進につなげることはできな
いか伺う。



横須賀城跡公園から再生可能エ
ネルギーの活用が進められて
いる海岸線を望む

**早期事業再開に向け、地権者
等との合意形成を図っていく**

A 主要地方道袋井大須賀線の
バイパス化事業は、一部の
地権者等から協力が得られない
ため、事業休止となっております。

早期事業再開に向け、地権者等と
の合意形成が図られるよう取り
組んでいきます。

脱炭素社会の実現に向けて

Q 環境省は令和3年度から、「ゼロ
カーボンシティ」を宣言
した自治体への支援を強化するが、
本市も宣言をして支援策を活用し
ていくべきと思うが、見解を伺う。

**脱炭素社会実現の取り組み
として新電力会社を設立**

A 掛川市は、脱炭素社会実現
の取り組みとして地域新
電力会社「かがわ報徳パワー」
を設立し、公民連携により地域
の再生可能エネルギーの地産地
消や地域課題解決事業をこれか
ら始めようとしているところ
であり、宣言はその先にあると考
えています。全国の動向を注視
していききたいと思います。

【その他の質問事項】

・価値ある掛川市海岸線地域ビジョン
の策定について